

第4回 歯科医師の資質向上等に関する検討会	資料1
平成29年5月22日	
第3回 歯科医師の資質向上等に関する検討会	資料2(改)
平成28年11月25日	

今後の議論の進め方について（案）

- 「歯科医師の資質向上等に関する検討会」は平成27年1月に設置し、主に歯科医師の需給問題を中心に議論を重ね、平成28年11月25日にこれまでの議論を整理したところ。
- 他方、医師・看護師においても需給に関する議論が継続的に行われ、平成28年10月3日より、「新たな医療の在り方を踏まえた医師・看護師等の働き方ビジョン検討会」（以下「働き方ビジョン検討会」）において、今後の医療提供及び医療従事者の在り方について議論が行われ、本年4月6日に報告書が取りまとめられたところ。
- なお、歯科医療の提供は、歯科診療所が中心であり、多くは小規模事業所で勤務する歯科医師が多いこと等、医科とは必ずしも状況は一致しないものの、「働き方ビジョン検討会」報告書に基づき議論が必要な内容が含まれること、また、高齢化の進展や歯科保健医療を取り巻く環境の変化に伴って、既に歯科保健医療の需要に変化が生じており、提供体制については、外来中心であった提供体制が、在宅歯科医療や医科入院患者に対する歯科医療の提供等が必要とされていることなど、歯科保健医療の提供体制については更に議論を掘り下げていく必要がある。
- こうした視点を踏まえ、本検討会では、これまでの議論に加え、下記の検討課題を中心に、今後の歯科保健医療の需要を踏まえたあるべき歯科保健医療の提供体制（いわゆる「歯科保健医療ビジョン」）を示すこととする。

<主な検討課題>

- ・ 今後の歯科保健医療の需要について
 - 各ライフステージ（小児、成人、高齢者）における需要
 - 各医療提供施設（歯科診療所、病院、居宅等）における需要
- ・ あるべき歯科保健医療の提供体制について
 - 地域包括ケアシステムにおける歯科医療機関（歯科診療所、病院歯科）の役割
 - かかりつけ歯科医の役割・機能
 - 具体的な医科歯科連携方策や歯科疾患予防策

<主なスケジュール>

平成29年5月：第4回検討会

「歯科保健医療ビジョン」の検討

平成29年秋頃：「歯科保健医療ビジョン」の取りまとめ（検討会中間報告）

平成30年度目途：需給の再推計（医師等の時期を勘案）